

地球科学輻合ゼミナール

(2013年度 後期 第1回)のご案内

2011年東北地方太平洋沖地震(Mw9.0)

発生2.5年後の今

平原和朗

京都大学大学院理学研究科地球物理学教室

2011年3月11日に東北地方太平洋沖地震(Mw9.0)が発生し、強震動、特に巨大な津波を発生させ、未曾有の東日本大震災をもたらした。1ヶ月後の4月13日にこの地球科学輻合ゼミナールで、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(Mw9): 概要」と題して緊急報告を行なった。その後2年半経過した今もなお、この超巨大地震について多くの研究が行われている。「想定外と言わざるを得なかった」この超巨大地震の発生について我々はどこまで理解できたのだろうか。解ったこと、依然解らないこと、および新たに浮かび上がった問題について概観する。

10月16日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室